

村山総合支庁ニュース

—MuraSou News—

令和6年

2

月号

第216号 村山総合支庁



村山総合支庁
公式 X(旧Twitter)



山形県ホームページ
村山総合支庁ニュース

村山総合支庁ニュースは、山形県のHPからもご覧いただけます。
最新号だけでなく、過去の記事も掲載しておりますのでぜひご覧ください。

『村山創生懇談会』開催

1月15日(月)、村山総合支庁本庁舎にて「**村山創生懇談会**」を開催しました。

村山地域の各分野で活躍する方8名と知事及び総合支庁長が出席し、「地域における課題と今後の施策展開の方向性」をテーマに、子育て、教育、福祉など多岐にわたる貴重なご意見、ご提案をいただきました。
いただいたご意見等は、今後の施策の検討に活かしてまいります。

(総務課 TEL:023-621-8107)

いただいた主な意見

- ・自己効力感(自分に自信を持つこと)を高めることで、子どもの愛郷心が育まれ人口減少の歯止めにつながる
- ・学校側がどう地域に入るかではなく、地域側がどう学校に入っていくかを模索することが必要
- ・インバウンド客に人気の蔵王と銀山温泉がもっと交通でつながるとよい
- ・公共交通機関が不便でいろいろな地域に気軽に行けないため、そこに行きたいと思えるようなきっかけが必要
- ・人が移住するには、民間のコーディネーターの力を借りながら、数年かけて気持ちを育てていく仕組みが必要
- ・若い人にチャレンジさせてあげることが大切
- ・学校が合わずに不登校になる子が多くおり、一人ひとりの多様な個別の学びの機会の確保が必要
- ・高齢者の方が社会参画できる場を一緒に考えてもらいたい

など



村山創生懇談会参加者

- ・大山 真吾さん (大山精機)
- ・佐藤 恒平さん (地域振興サポート会社まよひが企画)
- ・佐藤 千草さん ((株)吉田屋旅館)
- ・澁谷 美保さん (山形県立山形西高等学校 学生)
- ・田中 麻衣子さん ((株)キャリアクリエイト)
- ・堀川 裕志さん (羽陽建設(株))
- ・村山 恵子さん (NPO法人クリエイトひがしね)
- ・山蔭 瞬さん ((福)山形市社会福祉協議会)
- ・角田 愛理さん (果樹農家) ※書面参加

● 1/15 『村山創生懇談会』

今月の目次

ニュース・事業紹介

- ・『村山創生懇談会』開催 …1
- ・『知事と若者の地域創生ミーティング』開催【天童市・寒河江市】 …2
- ・美味しむらやま見本市 開催【山形市】 …3
- ・令和6年能登半島地震への村山総合支庁の災害支援対応 …3
- ・『村山地区自主防災組織リーダー研修会』開催 …4
- ・村総スキルアップ研修会 …4
- ・小学生が丹生川で校外学習【尾花沢市】 …5
- ・「令和5年度西村山地域農業担い手研修会」開催【寒河江市】 …5
- ・令和5年度自然公園関係功労者環境大臣表彰 伝達式
- ・『アラフィフからのすこやか生活レシピ集』

お知らせ

- ・雪害事故防止について
- ・アニサキスによる食中毒にご注意ください!
- ・ひきこもり相談、家族交流会について
- ・令和6年能登半島地震山形県義援金について



『知事と若者の地域創生ミーティング』

知事と若者が地域の良さや課題について語り合う「知事と若者の地域創生ミーティング」が、1月11日（木）に天童市、1月17日（水）に寒河江市でそれぞれ開催されました。

（総務課 TEL 023-621-8105）

in天童市

王将

天童市市民プラザにおいて、事業経営者や高校生、地域おこし協力隊員などの若者7名と吉村知事、山本市長が対談しました。

参加者からは、「美しい棚田のある地域で暮らしているが、高齢化等による耕作放棄地の増加が懸念される。継続して米作りができるきっかけになるよう、専攻した美術を活かし、地域の方々と棚田米の商品化をはじめた」「ボランティア活動を通して地域の方々との交流を深め、天童市の発展に貢献していきたい」など様々な発言がありました。

知事は、「これからも天童市の良さを受け継ぎ伝えながら、若い力を生かし、色々なことにチャレンジしてより住みよい地域にしていきたい」と呼び掛けました。



● 1/11
知事と若者の地域創生ミーティングin天童市
(天童市市民プラザ)

in寒河江市



慈恩寺テラスにおいて、事業経営者や農家、高校生などの若者8名と吉村知事、佐藤市長が対談しました。

参加者からは、「地域資源を有効に活用できるような遊びや企画があったらよい」「温泉をコミュニケーションの場として活用すれば、精神的な地域医療のサポートになり、安心して暮らせる寒河江市に繋がるのではないか」、また子育て世代の参加者からは「子どもが足を運びたくなくなるような居場所づくりが必要である」といった様々な意見が交わされました。

知事は、「多くの人がつながることで幅広い活動ができると感じた。今後の活動もつながりを大切にして、それぞれの地域で活躍していただきたい」と呼び掛けました。



● 1/17
知事と若者の地域創生ミーティングin寒河江市
(慈恩寺テラス)

「美味しむらやま」見本市を開催 ～6次産業化品の商品力向上、販路拡大へステップアップ～

山形市

1月17日、村山地域内の農産物を利用し、製造加工した6次産業化品の商品力向上や知名度アップ、販路拡大を図る展示商談会「美味しむらやま」見本市をヒルズサンピア山形で開催しました。

商談会等に出展経験がない小規模農林漁業者等が、取引の拡大や将来に向けた商品のブラッシュアップにつながるよう、地元のお土産店やスーパー等仕入れ事業者と、自ら加工したこだわりの商品の試食や試飲を通じ活発な意見交換や商談が行われました。

仕入れ事業者からは、商品の味やパッケージ、消費者ニーズに即したアドバイス等があり、今後の商品取引への期待が寄せられました。

（地域産業経済課 TEL 023-621-8432）



見本市の様子



試食を通じた商品PRの様子

令和6年能登半島地震への村山総合支庁の災害応援対応 ～被災地への支援物資の提供及び応援職員の派遣～

●支援物資の提供

1月1日（月）、石川県能登地方で震度7の地震が発生し、津波や火災など広範囲で甚大な被害に見舞われました。

このたびの災害への支援として、県、企業局及び山形市では、石川県に対し飲料水や液体ミルク、毛布などの**支援物資を提供**しました。県の備蓄品を保管している村山総合支庁からは、1月5日（金）に飲料水8,400本のほか、トイレセット4,800セット、生理用品1,290枚などを職員約30名が手分けしてトラックへ物資の積み込みを行い、被災地に向けて発送しました。



● 1/5 支援物資積み込み作業
(村山総合支庁)

●^{たいこう}対口支援（応急対策職員派遣制度）

この地震により被害を受けた新潟県新潟市への**対口（たいこう）支援**として、県職員・市町村職員が1月15日（月）から同月31日（水）まで派遣され、村山総合支庁からは、第1陣として、職員4名が応援職員として参加しました。現地では、被災した家屋を回り、被害状況の認定調査業務に従事しました。



● 被災した家屋

●避難者の健康支援活動（保健師等、DHEAT派遣）等

1月30日（火）から、県及び市町村の**保健師等が被災地で避難者の健康支援活動**を行っています。村山保健所からも第1陣として保健師及び事務職員が石川県加賀市に入り、避難者の宿泊先を巡回し、健康状態の確認・相談や医療が必要な方の受診調整などを行いました。

2月16日（金）からは、**DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）**として、村山保健所の医師及び薬剤師が石川県小松市に派遣され、1.5次避難所や保健所の運営支援を行いました。

村山総合支庁では、他にも獣医師派遣、義援金、住宅支援等を含め、今後も被災された方々に寄り添った支援活動をしていきます。

（総務課 TEL 023-621-8106）



● 1/30 保健師等による避難者の健康支援活動
(石川県加賀市)

防災・減災は普段の備えから！

『村山地区自主防災組織リーダー研修会』開催

1月31日（水）、村山総合支庁において、『**村山地区自主防災組織リーダー研修会**』を開催しました。

研修会には、各地域の自主防災組織で活躍しているリーダーなど約50名が参加しました。防災・減災対策や災害発生時の対応のポイントについて学びとともに、災害対応ゲーム「クロスロード」を通して、多様な意見や価値観を共有することの重要性と、状況によって判断が異なる場面で決断する大切さを理解しました。

（総務課防災安全室 TEL 023-621-8234）



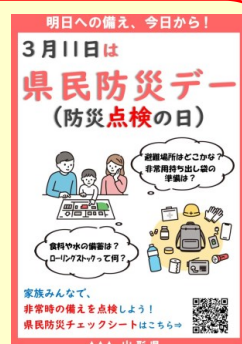
● 1/31 『村山地区自主防災組織リーダー研修会』

3月11日は「県民防災デー（防災点検の日）」

県では、3月11日を「**県民防災デー（防災点検の日）**」と決めました。東日本大震災の教訓を風化させることなく県民一人ひとりが防災について考え、地域や身近にいる人同士が助け合う「共助」の仕組みを確認し、避難や備蓄など災害の備えを点検するための取組みを進めてまいります。



↑ 詳細は
こちらから！



村総スキルアップ勉強会 県と市町職員と一緒に勉強しています！

● まちづくりワークショップ（12月6日）

県と市町職員23名で、文翔館前エリアの景観を考えるワークショップを開催しました。参加者からは、見慣れた木々や塀が建物等の見通しを遮っているの、より開放的にしてはどうかというアイデアが提案されました。



アイデアを提案し発表する県と市町職員（山形、上山、中山、大石田）

● 月布橋（大江町）上部工架設工事現場見学（12月19日）

大江町月布橋の上部工架設工事現場の見学会を開催しました。大型クレーンで吊上げた長さ約23mの巨大な橋桁をもの数分で所定の位置にぴったりと据え付けます。素晴らしい技術力をもとに、令和6年度の完成を目指します。



18.6tの橋桁吊り下げを見守る参加者（県、大江町職員等）

● 大旦川（村山市）土のリサイクル現場見学（12月20日）

村山市大旦川の河川改修工事で実施している土のリサイクル現場の見学会を開催しました。河川内の軟弱な土砂を掘り出し、砕石や石灰などを混ぜ合わせ堤防の材料として再利用する取り組みを行っています。



（建設総務課 TEL 023-621-8408）

土のリサイクル作業を見学する参加者（県、村山市職員 27名）

にゅうかわ

丹生川で校外学習

小学生が「流れる水のはたらき」を学びました！

尾花沢市

12月5日に、大石田北小学校の5年生7名が、尾花沢市内丹生川の河川敷において、北村山河川砂防課職員と「流れる水のはたらき」を題材に、基本的な川の特性を学習しました。児童たちは、教室で学んだことを生かして、実際に河川敷に入って、上流と下流によって、川幅や流れる川の速さ、川原の石の大きさ形に違いがあることについて観察しました。令和2年豪雨の時に水位が上がった痕跡を見たり、2tブロックが流された現場では、川の力のすごさに驚いていました。

「普段は川になかなか行けなかったのが良かった」、「川の音がきれいで、白い滝をみたら癒された」、「毎日、校外学習がしたい」といった声も聞かれ、今後は生活基盤である川に関心をもってもらい、丹生川を訪れた14の瞳たちが、地域に愛着を持ってすくすくと成長していくことを願います。

（北村山河川砂防課 TEL 0237-47-8678）



大石田小学校の児童たちと北村山河川砂防課職員



真剣に川を観察する児童たち

ブロックが流されてビックリ！

新規就農者の悩みにアドバイス！ 「令和5年度西村山地域農業担い手研修会」開催

寒河江市

1月15日(月)、寒河江市のホテルサンチェリーにおいて、「西村山地域農業担い手研修会」を開催しました。第1部では、農業のデジタル化をテーマに、農業経営に関わる情報を電子データで記録・蓄積できるデジタル営農管理ツール「アグリノート」の活用事例について、寒河江市の株式会社芳賀にここに農園の芳賀あゆみ氏、ウォーターセル株式会社の中島均氏から講演をしていただきました。

第2部では、新規就農者と農業士がグループをつくり、新規就農者の抱える課題や今後の営農計画に対し、農業士がアドバイスしました。農業の先輩から具体的な助言を受けられる絶好の機会ということで、21名の新規就農者・研修生が参加し、積極的な情報交換が行われました。

(西村山農業技術普及課
TEL 0237-86-8214)

● 1/15 「西村山地域農業担い手研修会」



(株) 芳賀にここに農園
芳賀あゆみ氏



ウォーターセル (株)
中島均氏

受賞おめでとうございます！

令和5年度自然公園関係功労者環境大臣表彰 伝達式

蔵王国定公園(蔵王高原(坊平)区域)で県自然公園管理員を長きに渡りお務めいただいている大沼邦充(おおぬまくにみち)さんが、令和5年度自然公園関係功労者環境大臣表彰を受けられ、1月29日(月)に、村山総合支庁長から表彰状を伝達いたしました。

この大臣表彰は、自然の保護とその適正な利用に関し、顕著な功績のあった方を表彰するものです。平成20年度から公園施設や登山道の維持、管理に従事されてきた大沼さんのこれまでのご尽力に、改めて感謝申し上げます。

(環境課 TEL 023-621-8426)



● 蔵王国定公園の樹氷

● 表彰を受けた
大沼邦充さん(中央)

簡単！おいしい！！メタボ予防・介護予防に使える 『アラフィフからのすこやか生活レシピ集』

村山総合支庁では、村山地域の市町の管理栄養士と協力し、将来のフレイル(加齢による虚弱)予防に向け、50歳代の働き盛りの方をターゲットに、忙しくても簡単に作って食べられる『アラフィフからのすこやか生活レシピ集』を作成しました。メタボ予防や介護予防に使える内容とし、レシピと共に健康な食生活を送るための知識やヒントを掲載しています。レシピ集は、県のホームページに掲載しますので、ご利用いただき健康づくりの一助としてご活用ください。

(地域健康福祉課 TEL 023-621-1102)



カラフルポテトサラダ



アラフィフからの
すこやか生活レシピ集

メタボ予防・介護予防に使える



お知らせ

❄️ 雪害事故防止について ❄️

村山管内では今シーズンも雪下ろしや除雪作業中の事故により、死傷者が出ています。

雪下ろしの際は、“万が一”に備えて必ずヘルメットや命綱を装着し、2人以上で安全に作業しましょう。なお、屋根からの落雪や除雪機の使い方にも気を付け、安全な除雪作業を心がけましょう。

また、雪害事故が起きないように家族や地域で、特に高齢者に向けて積極的に声かけなどを働きかけていただきますようお願いいたします。

雪害事故防止に関しては、県ホームページ「こちら防災やまがた！」の「防災情報」に《安全な雪下ろしガイド》などを掲載していますので、是非ご活用ください。

(総務課防災安全室 TEL 023-621-8108)

安全な雪下ろしのポイント

- ◆2人以上で作業
- ◆ヘルメット・命綱を装着
- ◆はしごはしっかり固定
- ◆使いやすい除雪道具の使用
- ◆屋根の雪のゆるみに注意
- ◆体調に気をつけ無理な作業はしない
- ◆足場にはいつも注意



「こちら防災やまがた！」
防災情報



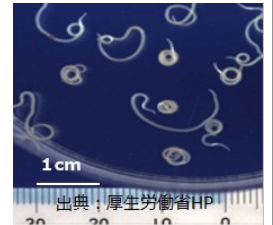
アニサキスによる食中毒にご注意ください！

アニサキスはカツオ、サバ、イカ等の魚介類に寄生している白色の太い糸のように見える寄生虫です。アニサキスが寄生している魚介類を生で食べることで、胃壁などへ刺入し、激痛を伴う食中毒を引き起こします。

予防には加熱（70℃以上、または60℃なら1分）や冷凍（-20℃以下、24時間以上）、目視による除去が有効です。

令和5年にも県内を含め、全国的にアニサキスによる食中毒が多発しており、注意が必要です。

(生活衛生課 TEL 023-627-1187)



アニサキス

ひきこもり相談、家族交流会について

村山保健所ではひきこもりに悩む本人やご家族を対象に、精神科医師・保健師による個別相談を実施しています。

会場：村山保健所、村山総合支庁西村山地域振興局
および北村山地域振興局
日時：担当までお問合せください
※保健師による相談は随時受け付けています。

また、2月27日（火）に村山総合支庁北村山地域振興局で家族交流会を実施します。詳しくは担当までお問合せください。



(保健企画課 TEL 023-627-1184)

令和6年能登半島地震山形県義援金について

村山総合支庁本庁舎では、1階ロビーに義援金に係る募金箱を設置しております。ご来庁いただいた県民の皆様から、毎日温かいお志しが寄せられています。お寄せいただいた募金は、全額を石川県等の被災地にお届けし、災害支援に役立たせていただきます。

なお、県では、県庁ロビー、各総合支庁、県立図書館、文翔館、やまぎん県民ホールに募金箱を設置しておりますので、引き続き県民の皆様からの善意のご協力をよろしくお願いたします。

(総務課 TEL 023-621-8106)



村山総合支庁1階ロビー
募金箱設置